

SONY®

バージョンアップ ディスク

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

このバージョンアップディスクを無断で複写、複製することを
固く禁じます。

 COMPACT
DISC

 naviken

 naviken

 VICS™

VICSは財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

NVD-101

© 1997 by Sony Corporation

バージョンアップ時およびプログラム切り換え時のご注意

バージョンアップおよびプログラム切り換えをすると、本体のプログラムが書き換えられます。以下の点にご注意ください。

プログラム1にバージョンアップしたとき

- 記録されていた走行軌跡は消去される場合があります。
- ルート探索条件、走行軌跡に関する設定、メニューの各種設定などの設定項目が、工場出荷状態になる場合があります。
- 自律航法ユニット接続時、バージョンアップ後に初めてナビシステムを使うときは、自律航法ユニットの調整が行われます。このとき「初期化中」メッセージは表示されません。初期化中の動作状態は、「情報」メニューの「センサー情報」画面で確認することができます。
- 本体が合成音声で案内をしているときに、リモコン操作を行うと、リモコン操作が優先されて合成音声の案内は中止されます。

プログラム2に切り換えたとき

- 記録されていた走行軌跡は消去される場合があります。
- ルート探索条件、走行軌跡に関する設定、メニューの各種設定などの設定項目が、工場出荷状態になる場合があります。
- 自律航法ユニット接続時、プログラム2に切り換えて初めてナビシステムを使うときは、画面に「初期化中」と表示され、自律航法ユニットの調整が行われます。
- 本体が合成音声で案内をしているときに、リモコン操作を行うと、リモコン操作が優先されて合成音声の案内は中止されます。

ご注意

- このCD-ROMをCDプレーヤーなどで再生しないでください。大音量が出力されることがあります。
- バージョンアップおよびプログラム切り換えが出来るのは、ナビシステム本体のみです。CD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61に、このバージョンアップディスクを入れて、プログラムの更新を行うことはできません。

目次

バージョンアップ時およびプログラム切り換え時のご注意	2
バージョンアップの概要	4
プログラムを更新する	5
プログラム1に更新する(ナビ研S規格ディスク・VICS対応)	5
プログラム2に切り換える(ナビ研V2.1規格ディスク・ATIS対応)	6
プログラム1の追加機能	7
メニュー画面の変更	7
ルートガイド時の追加機能	8
詳細地図表示	8
交差点拡大表示	9
VICSユニットを使う	9
FM文字多重放送受信ユニットを使う	10
今までV1.3以前のナビシステムをお使いになっていたお客様へ	15
バージョンを確認する	15
マーク機能の追加	16
その他	17
保存とお手入れ	17
故障かな?と思ったら	18
ソフトウェア使用許諾誓約書	19

バージョンアップの概要

このディスクは、お手持ちのナビゲーションシステムで、ナビ研S規格ディスクの使用とVICSユニットの拡張を可能にすると共に、ルートガイド時の機能などを追加するバージョンアップディスクです。

対象機種

このバージョンアップディスクを使用できる機種は、次のとおりです。

NVX-S1
NVX-F30
NVX-SV1
NVX-F36
GPX-5

バージョンアップ後の機能(プログラム1)

バージョンアップによって追加または拡充される機能は、次のとおりです。

- ・ナビ研S規格ディスク使用時の、詳細地図表示、交差点拡大表示
- ・VICS対応FM多重ユニットNVA-VF1およびVICS対応ビーコンユニットNVA-VB1の拡張
- ・ルート設定時の、一般道路/高速道路確認
- ・ルートガイド時の到着予想時刻表示

ご注意

対象機種の制約上、次の機能は削除されます。

- ・ATIS機能
- ・メインメニューの「操作説明」(NVX-S1/F30/SV1/F36使用時)
- ・ポイントガイド、世界時計(GPX-5使用時)

また、VICSユニット接続時は、以下の機能が削除されています。

- ・渋滞回避ルートガイド(DRGS機能)
- ・VICS情報受信時およびFM文字多重放送受信時の自動ネットサーチ機能
- ・VICSデモ
- ・ルート確認中のVICSレベル3表示

プログラム1とプログラム2は、プログラム1のバージョンアップ実行後、プログラム切り換え操作時に選択することができます。(プログラム切り換え機能)

ATIS機能を使うには(プログラム2)

現在ATISユニットを接続している場合は、プログラム内容を切り換えることによって従来どおりATIS機能を使うことができます。ただし、プログラム2ではナビ研S規格のディスクは使用できず、ナビ研バージョン2.1規格ディスク対応のプログラムになります。

プログラム1とプログラム2の関係は次のとおりです。

プログラム1 :

「ナビ研S規格ディスク」対応 + 「VICS」対応

プログラム2 :

「ナビ研V2.1規格ディスク」対応 + 「ATIS」対応

使用ディスクについてのご注意

プログラム1のバージョンアップを行った場合、お手持ちのナビゲーションシステムは、ナビ研S規格専用機になります。本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会統一S規格のシンボルマーク(ナビ研S規格マーク)がついている地図ディスクをお使いください。ナビ研S規格のマークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格の基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわりなく本機で使用できます。

推薦ディスク

ゼンリン ナビソフトドライブマップ2 Super関東版
その他の地域版シリーズ



ナビゲーションシステム研究会統一S規格マーク

プログラムを更新する

最初のバージョンアップ実行時は、必ずプログラム1への更新になります。一度バージョンアップを行うと、プログラム1/プログラム2の切り換えを行うことができます。

プログラムを更新する

プログラム1に更新する

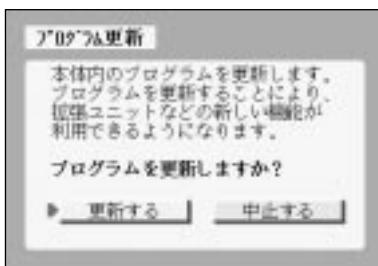
(ナビ研S規格ディスク・VICS対応)

1 電源を入れ、地図ディスクプレーヤーにバージョンアップディスクを入れる

GPX-5では、本体にバージョンアップディスクを入れて電源を入れます。

2 「更新する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

バージョンアップを中止するには、「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。



3 プログラム更新終了のメッセージを確認し、地図ディスクに入れ替える

ご注意

バージョンアップおよびプログラム切り換えが出来るのは、ナビシステム本体のみです。CD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61に、このバージョンアップディスクを入れて、プログラムの更新を行うことはできません。

プログラム2に切り換える

(ナビ研v2.1規格ディスク・ATIS対応)

プログラム2に切り換えるには、あらかじめプログラム1のバージョンアップを行ってから、次のように操作します。
(プログラム2からプログラム1に切り換えるときも、同様に操作します。)

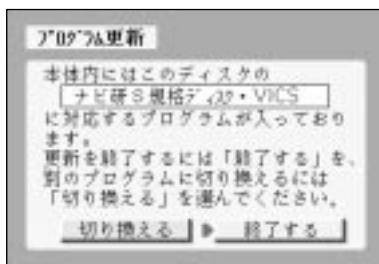
4 プログラム切り換え終了のメッセージを確認し、地図ディスクに入れ替える

1 電源を入れ、地図ディスクプレーヤーにバージョンアップディスクを入れる

GPX-5では、本体にバージョンアップディスクを入れて電源を入れます。

2 「切り換える」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

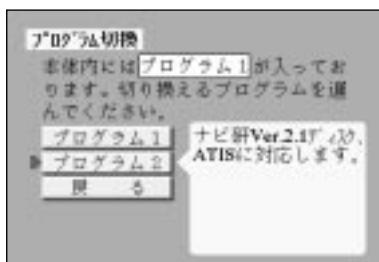
プログラム切り換えを中止するには、「終了する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。



3 「プログラム2」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

プログラム2からプログラム1に切り換えるには、「プログラム1」を選択します。

切り換えを中止するには、「戻る」に▶を合わせて決定ボタンを押します。



プログラム1 の追加機能

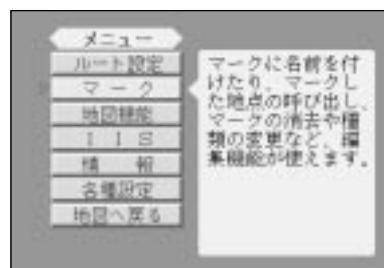
プログラム1の追加機能

メニュー画面の変更

バージョンアップによって、メニュー画面の構成
が一部変更されます。

NVX-S1/F30/SV1/F36では

メインメニューの「操作説明」が削除されます。
「マーク」がない機種では、「マーク」も追加され
ます。



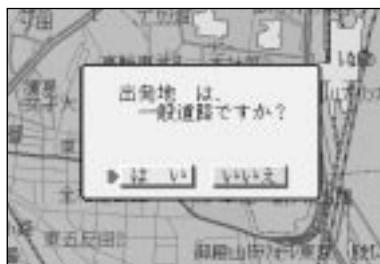
GPX-5では

メインメニューの「ワールド機能」が削除されま
す。

ルートガイド時の追加機能

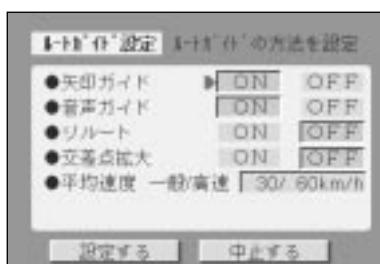
道路選択画面

「出発地、経由地や目的地を任意に設定してルートを探す」操作で出発地などを設定する場合、設定した位置が一般道路か有料道路が判断できないとき、次のような確認画面が表示されます。有料道路を設定するときは、「いいえ」に▶を合わせて決定ボタンを押します。



到着予想時刻表示

「各種設定」メニューの「ルートガイド」画面に、「平均速度」が追加されています。「平均速度」は目的地到着の予想時刻を自動的に計算するための設定です。「一般」または「高速」を選択し、ジョイスティックまたはカーソルボタンで「5」km/h単位で変更することができます。



ルートガイド中に目的地ボタンを押すと、目的地への到着時間を現在時刻から計算して地図画面上に表示します。



ご注意

- ・到着予想時刻は、およそその時刻です。
- ・設定した平均速度と大きく異なる速度で走行した場合は、正しい時刻が表示されません。

詳細地図表示

ナビ研S規格の地図ディスクは、従来よりもさらに詳細な縮尺(25~50m)の「詳細地図」に対応しているものがあります。

従来地図



地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

本書で使用している地図画面は説明用のものです。

また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

リルート機能についてのご注意

リルート機能は、ルートをはずれた位置から一定の距離の範囲内で推奨ルートに戻るルートを計算する機能です。この範囲内に経由地があるとき、リルート後の推奨ルートに経由地が含まれないことがあります。このような場合は、車を安全な場所に停車させてルート再探索を行ってください。

ルート再探索に関するご注意

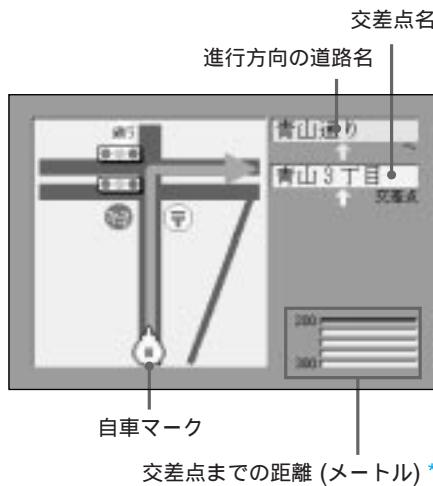
- ・ルートの再探索は、出発地が「自車位置」に設定してあるときに、自車位置から目的地までの新しいルートを探索します。出発地が「自車位置」以外に設定してあると、これまでのルートと同じルートしか表示されません。
- ・出発地が「自車位置」以外に設定してあるときは、右の「設定した地点を修正する」で出発地を「自車位置」に修正し、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。
- ・「ルート再探索」は、設定されている地点、探索条件にもとづいて再計算を行います。ルートガイドの途中でルート再探索を行った場合、すでに通過してしまった経由地なども探索計算に含まれますのでご注意ください。このような場合は、右の「設定した地点を修正する」で通過してしまった地点を消去して、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。

交差点拡大表示

(別売りの自律航法ユニット接続時)

「各種設定」メニューの「ルートガイドの設定」操作で、「交差点拡大」をONに設定すると、従来の交差点拡大表示の内容が以下のようにバージョンアップされています。

交差点拡大表示は、フル画面表示になります。



交差点までの距離 (メートル) *

自車マークが進み始めると数字に変わります。

* 交差点までの距離は、およその数値です。

ご注意

自律航法ユニットを接続していると、音声ガイドやリルート機能、交差点拡大表示機能をより正確に使うことができます。このときは、「ルートガイドの設定」の音声ガイド、リルート、交差点拡大の各項目を「ON」にしてください。ただし、衛星電波の受信状態などによっては、これらの機能が正しく働かないことがあります。

VICSユニットを使う

バージョンアップによって、以下のVICSユニットを接続することができます。

- VICS対応FM多重ユニットNVA-VF1
- VICS対応ビーコンユニットNVA-VB1

クイックボタンにVICSメニューを登録する
VICSユニットNVA-VF1/NVA-VB1接続時は、クイック1またはクイック2ボタンに「VICSメニュー」を登録します。

1 メニューボタンを押す

2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

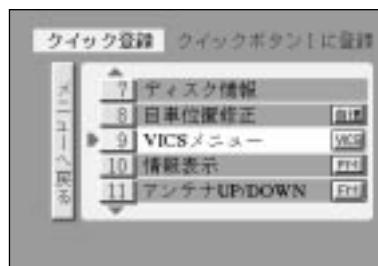
3 「クイック登録」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



現在登録されている機能

4 「クイック1登録」または「クイック2登録」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

5 「VICSメニュー」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



6 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

VICSユニットを使う (続き)

VICSメニューを表示する

VICS機能を登録したクイックボタンを押すと、VICSメニューが表示されます。



VICSユニットの操作は、NVA-VF1およびNVA-VB1の取扱説明書をご覧ください。

ただし、対象機種の制約により、以下の機能が削除されています。

- 渋滞回避ルートガイド(DRGS機能)
- VICS情報受信時およびFM文字多重放送受信時の自動ネットサーチ機能
- VICSデモ
- ルート確認中のVICSレベル3表示

また、次のメニューが変更されています。

- 情報ON/OFFメニュー
VICS情報切換の「表示」/「非表示」選択になります。「非表示」を選択すると、VICS情報が表示されません。
- 「高速道路限定」/「一般道路限定」/「全道路表示」の選択は、「高速道路」または「一般道路」の選択になります。
- VICS初期設定メニュー
- 「渋滞なし」情報のON/OFF設定削除
- 「不明」情報のON/OFF設定削除
- 「渋滞方向」のON/OFF設定の移動
- 「点滅表示」のON/OFF設定削除
- 「VICSデモ」のON/OFF設定削除

各設定を「OFF」にすると、地図のスクロール速度が早くなります。

ご注意

- 車の速度を上げると、画面のVICS情報表示が白色から黄色になり、レベル3情報を表示しなくなることがあります。これは、地図画面のスクロールが早過ぎてVICS情報の表示が追いつかないためです。VICS情報を表示するには、車の速度を落とすか、地図画面を広域に切り換えてください。
- VICSメニューのアンテナUP/DOWN機能は、GPX-5をバージョンアップした場合はインストールされません。GPX-5にVICSユニットを接続して使用するときは、本体の電源を切ってアンテナを格納してください。

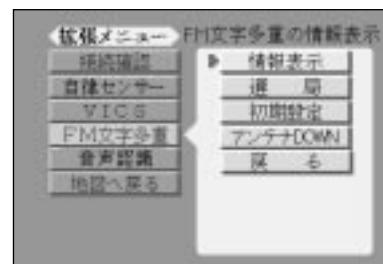
FM文字多重放送受信 ユニットを使う

プログラム1のバージョンアップを行い、FM文字多重放送受信ユニットNVA-FM1のみを接続してFM文字多重放送を受信するとき、以下の操作方法がNVA-FM1の取扱説明書の内容とは異なります。(プログラム2で使用する場合は、従来と同じ操作です。)

FM文字多重放送を見る

1 拡張ボタンを押す

2 「FM文字多重」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



3 サブメニューの各項目を選択する

次ページ以降の操作に続きます。

番組を見る

1 サブメニューの「情報表示」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

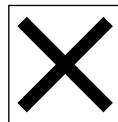
総目次画面になります。



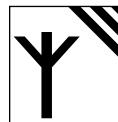
① 受信状態表示

現在選択している周波数の文字多重放送の受信状態を表示します。

受信不能



受信中



② 番組番号

表示したい番号に▶を合わせて決定ボタンを押します。

③ ヘッダー情報表示

④ 自動ページ送りマーク

「初期設定」の「自動ページ送り」が「速い」または「遅い」設定のとき表示されます。(走行中は自動ページ送りはされません。)

⑤ 表示エリア

通常は15.5文字×2行です。(初期設定により、停車中は8行表示することができます)

⑥ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

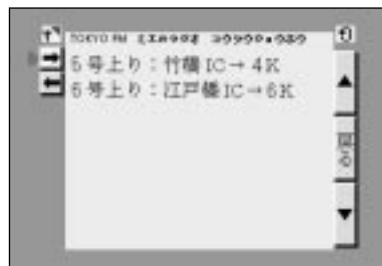
⑦ ▲前ページ / ▼次ページ送り

前後のページを表示します。

⑧ 番組ジャンプ

目次画面に戻らず前後の番組にジャンプします。

2 表示したい番組番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す



表示を8行にするには(停車時のみ)
「初期設定」で8行表示機能をONに設定します。

前後の番組を表示するには
「番組ジャンプ」([8])に▶を合わせて決定ボタンを押す。

前後のページを表示するには
▲前ページ / ▼次ページ送り ([7])に▶を合わせて決定ボタンを押す。または、リモコンの広域/詳細ボタンを押す。

総目次画面(1ステップ前)に戻るには
「戻る」([6])に▶を合わせて、決定ボタンを押す。

メニュー画面に戻るには

総目次画面に戻って「戻る」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

リモコンの「現在地」ボタンを押す。

FM文字多重放送受信ユニットを使う(続き)

放送局を選局する

放送局の選局は、プリセッタリストの番号から選択する方法と、プリセッタリストにない放送局を自動または手動で受信する方法があります。

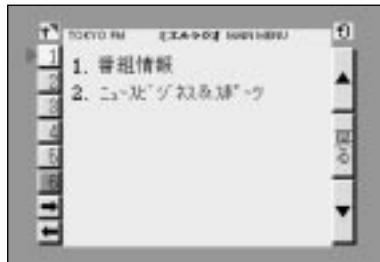
1 サブメニューの「選局」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「選局」画面(プリセッタリスト)になります。



2 選局したいプリセット番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す

選択された放送局の「総目次」画面になります。



メニュー画面に戻るには

「戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

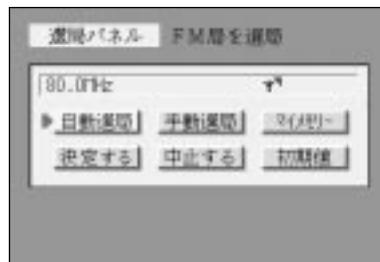
「現在地」ボタンを押す。

自動で選局する

プリセッタリストにない放送局を自動的に受信します。

1 「選局」画面で「選局パネル」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「選局パネル」画面になります。



2 「自動選局」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

周波数の高い方向へ自動的に多重局を探し始め、受信すると周波数を表示します。見たいFM局が受信できるまで、操作を繰り返します。

選局中は、周波数表示が「---」になります。

82.5 MHz

受信すると、FM局の周波数を表示します。

自動選局中に選局を中止するには
リモコンの決定ボタンを押す。

3 「決定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

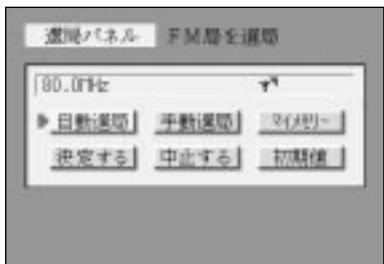
「総目次」画面になります。

見たい放送局の周波数がわかっているとき (手動選局)

見たい放送局の周波数を指定して受信します。

1 「選局」画面で「選局パネル」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「選局パネル」画面になります。



2 「手動選局」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

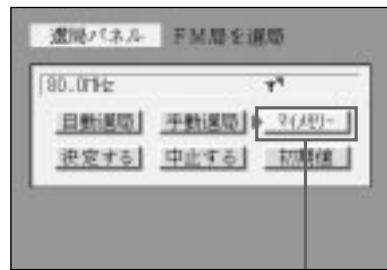
周波数表示が手動で選局できる状態になります。

3 見たい放送局の周波数表示になるまでジョイスティックを上下に倒して、決定ボタンを押す

4 「決定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「総目次」画面になります。

受信局をプリセットリストに登録する



「マイメモリー」ボタン

「選局パネル」画面で放送局を受信したあと「マイメモリー」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、次のような「リスト番号選択」画面が表示されます。



受信した放送局を保存するには

ジョイスティックを上下に倒して保存先のリスト番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す。

確認メッセージが表示され、プリセットリストに保存されます。

FM文字多重放送受信ユニットを使う(続き)

初期設定について

FM文字多重メニューのサブメニュー「初期設定」は、次のような項目に変更されます。

- 8行表示機能
停車中の文字表示を8行にします。
- 自動ページ送り
「遅い」または「速い」に設定すると、停車時にページを自動で送ります。
- アンテナコントロール機能はサブメニューの中で設定します。

ご注意

VICSメニューのアンテナUP/DOWN機能は、GPX-5をバージョンアップした場合はインストールされません。GPX-5にVICSユニットを接続して使用するときは、本体の電源を切ってアンテナを格納してください。

緊急情報について

災害時などにFM文字多重放送局が送信する緊急情報を、本機が受信したとき、画面に緊急情報を優先的に表示します。

番組を見ているとき

受信を知らせる警告音が鳴り、画面に緊急情報を表示します。

ご注意

- 車のアンテナが収納された状態では、「緊急情報」の受信はできません。緊急情報を受信するときは、必ずアンテナを伸ばしてください。
- 受信した内容を見るときは、実際の交通規則に従い、車を安全な場所に停車してください。
- 受信状況により、送信された緊急情報をすべて受信できるとは限りません。

オートアンテナ機能について

ナビシステムとモニターの組み合わせによってはモニターの電源ボタンではナビシステムの電源を切ることができないことがあります。その場合は、オートアンテナ機能で、アンテナを自動的に下げることができません。

パーキングタワーなどに入るとき、アンテナを収納する場合は、FM文字多重のサブメニューより「アンテナDOWN」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、アンテナを収納することができます。

アンテナが収納されている場合、拡張メニュー「FM文字多重」の項目は「アンテナUP」と表示されます。再びご使用になる場合は、必ずアンテナを上げてください。

緊急警報について

災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するのですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。

NVA-FM1は、緊急警報を受信することができるようとしたのですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。

従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかつた場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。

今までV1.3以前のナビシステムをお使いになっていたお客様へ

ルート探索、およびルートガイドに関するバージョンアップは次のとおりです。

ルート探索条件の変更について

各機種の取扱説明書では「ルート探索条件を設定する」画面の中で、フェリーについて、「使用する」、「使用しない」を選択するように説明していますが、フェリーを「優先する」、「優先しない」の選択に変更されます。

さらに、機種によっては、フェリーを使うとき、フェリー乗り場を経由地2に設定するように説明している機種がありますが、バージョンアップすることにより設定は不要になります。

ルートガイドについての機能追加

ルートガイド中に、GPS衛星の誤差や、表示以外の道を走行するなどして、表示されている道から外れたときは(約200m~400m位)自動的にシンプルガイドによる行き先案内に変わります。再びルートに戻ると、ルートガイドを再開します。また、さらに道から大きく外れたときは、従来では、リルート選択画面が表示され、選択するようになっていましたが、自動的にリルート機能が働き、ルートに戻る道を探索して表示します。

ただし、この場合メニューの「各種設定」の中にある「ルートガイド設定」画面で、リルート機能の設定をOFFにしていると、リルート機能は働きません。このときは、ルートにもどればルートガイドが再開されます。

V1.3以前をお使いになっていたお客様へ

バージョンを確認する

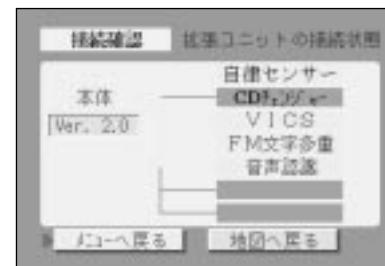
お使いになっているナビシステム本体のプログラムのバージョンを確認することができます。拡張メニューの「接続確認」画面に表示されます。

1 拡張ボタンを押す

2 「接続確認」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「本体」の表示の下に現在のプログラムのバージョンが表示されます。

例: Ver 2.0の場合



ご注意

プログラム2では、ナビ研S規格の地図ディスクを使用することはできません。ナビ研S規格ディスクを挿入すると、「ナビ研S規格の地図ディスクは使用できません。本機のプログラムを入れ替えてください。」と、エラーメッセージが表示されます。

マーク機能の追加

「マークをつけておく」(「より早く目的地を探す」の項目)の機能が、バージョンアップされています。

バージョンアップの内容は、次のとおりです。
(お手持ちのナビシステムによっては、すでにバージョンアップ済みのものがあります。)

- マーク点は250か所まで登録可能
- 「マーク」メニューがメインメニューに移動
- マーク位置での指マークとマーク名称表示
- マークリスト画面に「名称」を追加

マークの名前を変更する

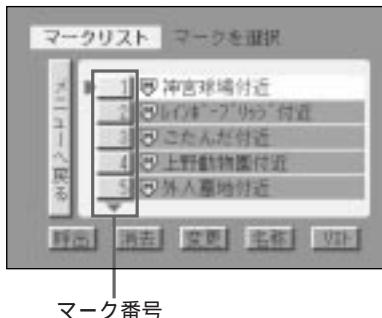
マークリストや地図に表示される名前を変更することができます。

地図画面から「マークリスト」画面にするには
消去したいマークのある位置に+マークを合わせ、マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順4から操作できます。)

1 メニューボタンを押す

2 「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「マークリスト」画面になります。

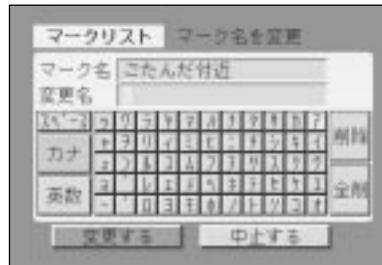


3 消去したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す

誤ったマーク番号を選んだときは
「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

4 「名称」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

カナ入力画面が表示されます。



5 カーソルボタンで新しく名前に付ける文字を1文字ずつ選択して、決定ボタンを押す

20文字まで入力することができます。

英数字や記号を入力するときは
「英数」を選択し、決定ボタンを押します。
カナ入力画面に戻るには、「カナ」を選択して決定ボタンを押します。

間違った文字を入力したときは
「削除」を選択し、決定ボタンを押します。
決定ボタンを押すたびに、直前に入力した文字から1文字ずつ削除されます。

入力したすべての文字を削除するには
「全削」を選択し、決定ボタンを押します。

6 「変更する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

マークに新しい名前がつき、マークリスト画面に戻ります。

変更を中止するには、「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。

ご注意

マークの種類や名前を変更したときは、必ず地図画面に戻ってから電源を切ってください。マークリスト画面のままで電源を切ると変更した内容が登録されません。

その他

保存とお手入れ

保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。

特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆に地図ディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)を生じことがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

お手持ちのナビシステムの「故障かな?と思ったら」
に、次の内容を追加してください。

症状	原因および処置
“詳細地図”が表示されない。	<ul style="list-style-type: none">地図ディスクに“詳細地図”的データが入っていない。“詳細地図”的入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。ナビ研S規格以外の地図ディスクを使用している。“詳細地図”的入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。

ソフトウェア使用許諾誓約書

お買い上げいただきましたバージョンアップディスクNVD-101のソフトウェアプログラムおよびその使用説明書(以下併せて本ソフトウェア)は、ソニー株式会社(以下弊社)がその著作権を有しております。本ソフトウェアご使用前に以下の内容をご確認いただき、ご同意いただけましたら、同封の登録カードに必要事項をご記入の上、弊社までご送付ください。使用者登録をされることにより、弊社は、以下の条件にてその使用を許諾させていただき、サポートを提供させていただきます。

第1条

弊社は、登録カードに記載されたお客様(以下お客様)に対し、登録カードに記載された住所(但し日本国内に限ります)において、本ソフトウェアを、カーナビゲーションシステムを使用する目的で特定1台のカーナビゲーションシステム上で使用する、非独占的な権利を許諾いたします。なお、お客様は、あらかじめ弊社に書面にて通知をすることにより、登録住所を変更することができます。

第2条

①本ソフトウェアに物理的な欠陥(ディスクの破損など)があった場合は、お客様の本ソフトウェア購入日から90日間に限り、弊社は、無償で良品と交換させていただきます。

②弊社は、本ソフトウェアに関し、本条①に規定される以外のいかなる保証も行わないものとします。

第3条

①お客様は、本ソフトウェアを複製しないものとします。

②お客様は、本ソフトウェアのソフトウェアプログラムにつき、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコードの解析を行わないものとします。

第4条

お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を、第三者に販売、賃貸、またはその他の処分を行わないものとします。また、本契約書でお客様に許諾される権利を第三者に譲渡したり、再許諾することもできないものとします。

第5条

お客様が本ソフトウェアを使用したため、お客様または第三者に発生した損害に関して、弊社はそのいかなる責任も負わないものとします。

第6条

お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、弊社は本契約を解除し、それによって被った損害の賠償をお客様に請求することができるものとします。その際、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに中止し、本ソフトウェアをその複製物も含めて、速やかに弊社に返却するものとします。

以上

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* 1 - 3 - 8 6 0 - 1 1 0 - 0 1 * (2)